

令和2年度 第3回函館市食育計画策定推進委員会 会議概要

- **開催日時** 令和2年10月30日（金）16時～17時
- **開催場所** 函館市総合保健センター2階健康教育室
- **会議内容**
議題
（1）第3次函館市食育推進計画（素案）について
（2）その他
- **送付資料**
 - ・ 会議次第
 - ・ 資料1：令和2年度 第3回函館市食育計画策定推進委員会名簿
 - ・ 資料2：第3次函館市食育推進計画（素案）
 - ・ 資料3：第3次食育推進計画（概要版）
 - ・ 資料4：第2回函館市食育計画策定推進委員会 論点整理
 - ・ 資料5：食育関連事業取り組み事例（記載表）
- **出席委員（14人）**（委員長，副委員長以外は五十音順）
池田延己委員長，木幡恵子副委員長，
東清美委員，池田公貴委員，神田克実委員，木下あやこ委員，
坂本政博委員，佐々木和子委員，沢田紀之委員，中村享子委員，
中村正俊委員，花輪恵美委員，吉田洋久委員，渡邊たえ子委員，
- **欠席委員（1人）** 三島裕一委員
- **報道機関** 函館新聞記者
- **傍聴者** 1人
- **事務局**
（保健福祉部）大泉潤部長，兵庫隆俊次長
（子ども未来部母子保健課）加藤貴子主査
（農林水産部市場・販路担当課）平澤浩樹課長
（教育委員会学校教育部教育指導課）酒井光史指導主事
（教育委員会学校教育部保健給食課）町谷仁志課長
（保健福祉部健康増進課）三上敦誉課長，清水玲子主査，有賀友香主任技師

■ 会議要旨

1. 開 会

(事務局) 三上課長

ただ今から、第3回函館市食育計画策定推進委員会を開催いたします。本日、司会を担当します健康増進課の三上です。

本日は、お忙しい中、また、お仕事でお疲れのところご出席いただきまして誠にありがとうございます。

第1回目、第2回目は新型コロナウイルス感染予防の観点から、書面会議とさせていただきますでしたが、貴重なご意見を頂戴し、ありがとうございます。

本日の委員会でございますが、委員総数15名中14名の委員にご出席いただいております。「函館市食育計画策定推進委員会設置要綱」第6条第3項の規定により、委員会が成立しておりますことをご報告いたします。

さて、皆様にお断りいたしますが、当会議につきましては、「公開」により行いたいと思っておりますので、ご了承願います。

また、会議の内容につきましては、後日、事務局で会議録を作成し、市のホームページ上で公開してまいりたいと考えており、会議録作成のため、録音させていただきますことをご了承いただきますようお願いいたします。

それでは、資料を確認させていただきます。資料は、委員会次第、資料1から資料5まであります。お持ちでない方は、事務局まで声かけをお願いいたします。

2. 保健福祉部長挨拶

— 挨拶 —

3. 委員および事務局職員紹介

— 各委員および事務局挨拶 —

(事務局) 三上課長

それでは、これより池田委員長を議長として進めさせていただきたいと思っております。池田委員長、よろしく願いいたします。

4. 議題

(1) 第3次函館市食育推進計画(素案)について

池田委員長

改めましてこんにちは。既に書面会議において見て頂いているので、そんなに意見はないとは思いますが、先程部長からもありましたように、より良い意見が出たらと思っておりますのでよろしくお願いいたします。まず、議題1について事務局より説明をお願いします。

(事務局) 清水主査

－資料の説明－

池田委員長

説明の内容について質問をお受けしたいと思います。

計画に理念等が書かれていますが、絵に描いた餅にならないためには、どうしたら良いか。計画の目標達成を実現するために、行動するにはどうしたら良いのか。函館市の子どもの朝食摂取状況が良くないが改善する方法はありますか。

沢田委員

学校におきましては、家庭生活に関わって保護者と懇談をする機会ですとか、資料を配布して啓発することをこれまでも行ってきました。朝食を抜く子供の割合が多い事に関しましては、朝食自体の課題もあるかもしれませんが、早寝早起きがなかなか出来ていない、早く起きれなくて時間がないから朝食を摂れないとか、当然遅く寝てしまえば早く起きれないとなる。朝食を摂らないという単発な理由だけではなくて、色々なものが複合しておりますので、学校としましては、いろいろな機会に保護者の方へ啓発するようなお話や資料提供をし、具体例を挙げながら示してきたところです。

池田委員長

朝ごはんを食べることは、1日の出発点となるので学校でも色々やっていたらなければならないと思う。

どうして函館市は中学1年生から就寝時間が遅いのか？中学3年生になると入試等あり遅くなるのも解るが・・・。

池田委員

“これ”という答えは難しい。先程、小学校長会からもありましたように、生活習慣という捉えで、中学校1年生でなぜかというのは即答できませんが、小中学校9年間での生活習慣の中でゲームに費やす時間や家庭学習に費やす時間がどうなのか、学校現場でも調べてみ

ながら、周知啓発の仕方を色々工夫していかなければならないと数値をみて思っていたところでした。

池田委員長

23時以降に就寝となるとゲームに費やしている時間なども入ってくるのではと思う。改善するためには、学校とPTAと連携していかなければいけないと思うが、PTAはどう思いますか。

神田委員

朝ごはんは就寝時間の問題については、永遠の課題のように取り組んでいる。朝ごはんの問題は、自校の養護教諭からは、決まったお子さんが朝食を摂って来られない状況で、欠食するお子さんに声をかけている状況と伺っている。どうしても小学生は自分で朝ごはんを作って食べる力がないので、保護者が親として子供達に朝ごはんを食べさせる事が大事だということを、皆さんが共通で思っていて下さっていいのですが、一番分かって欲しいところに届いていないというのも現実だと思います。PTAとしましても届くかどうか分かりませんが、あきらめずに朝食が大切だという食育に対して学校と連携しながら進めていくことが大切だと思っています。

池田委員長

周知啓発だけではなくて実際に動かないと数値は変わっていかないと考える。皆さんがそれぞれの立場の中で、どうやったら行動が変わるか。どうやったら数値が改善出来るのかを考えていかないと大変な事になってくる。そういった上で栄養バランスのしっかり摂れた子供が育って行かないのかなと心配になり尋ねてみました。

渡邊委員

会員は養成講座を受けただけで資格がある訳ではないが、主婦として工夫した献立を考えて料理を作ることを継承するため、若い世代に推進する活動に力を入れています。親に伝えても聞いてくれないので少しでも若い高校生や短大生に伝える活動をしている。今後は働き盛りの世代へも働きかけていきたいが、どのように進めたらよいか解らない。

池田委員長

働き盛りの世代のいるところを事務局で検討して紹介し、ヘルスマイトさんに活動してもらえたら良いのでは。

この間は、大妻高校にヘルスメイトが4人来てくれて塩焼きそばを作ってくれました。明日は、朝日アグリの米の普及を目的とする事業に賛同し、料理研究家から、学科長自家製の梅干しを使ったお米に合うおかずを学びます。その以前には、水産物商業協同組合と連携しながら魚の裁き方や魚の料理の実習もしました。大妻高校では、実際に行動に移しながら「早寝・早起き・朝ごはん」をテーマにしながら動いています。集団調理では、毎年つぐみ保育園の園児に来校してもらいバイキングを提供していたが、今年度はコロナ渦なので中止とし、宅配弁当を届けました。栄養計算や原価計算しながら活動をしています。実際に行動しないと、絵に描いた餅で終わってしまうので、行動に移すことを皆さんにお願いしたい。

木下委員

渡邊委員が言っていた「親御さんに言っても伝わらない」との意見がありました。そのとおりだと思います。関心を持って頂けない方だと難しく、ご苦労を感じます。何を選んで食べるのが望ましいか解りやすい様に二択のクイズ形式で伝える等の工夫が大切だと感じている。子供の頃から自分で選べる目を養っていくことが大切だと強く思っています。子供自身に啓発したものを、家に帰ってから親御さんに伝えてくれたら良いと考えるようになりました。

池田委員長

教え子が、ファストフードで食べた方が安いし量も多いから良いと言っていた。エネルギーや塩分が高かったり、添加物がたくさん入っているのではないかと、本当にそれで良いのかと話したことがあります。お母さんの手で色々作ったものを食べさせることが大事で、食事を用意する背中を見せることが大切なのではないかと話したことがあります。計画の内容について良いものだと思っているが、絵に描いた餅にならない様にするためにはどうしたらよいかだけ心配している。

(事務局) 三上課長

貴重なご意見をありがとうございます。
ただ今、お話がありました朝ごはんと就寝時間はリンクしていると感じています。渡邊委員から親御さんが言うこと聞いてくれないのご意見ありました。行政としてはヘルスメイトさんに非常にお世話になっているところですが、コロナの影響で予定していた料理教室が、大半中止となっている状況です。これからコロナ対策しながら人数も制限した上で、実施していかなければと、特に次年度は第3次計画が策定の年となるので食育に力を入れていかなければならないと考えてい

ます。はこだて市民健幸大学等の場を利用してコロナ感染に気を付けながら食育を伝えることを徹底して実施していきたい。周知だけでなく実際に行動していかなければいけないという事ですが、民間の方に趣旨を賛同頂き、市内飲食店にヘルシーメニューの提供をしてもらう事業を考えています。ヘルシーなメニューでも美味しい料理の提供してもらう。木幡副委員長に健幸大学の講師でお話頂いた中でも、みそ汁に牛乳を加えることで減塩で美味しく出来ることを教えてもらい実践しました。そのような工夫したメニューを飲食店にも考案してもらい、家庭でも真似してもらいたい。草の根運動的なものになり時間もかかると思いますが、食育計画策定年に食育を推進していきます。第3次計画からは、第2次の子どもメインだった対象をより幅広い世代に対象を広げたことから、大人がしっかり食育を学んでこそ次世代に繋げていくことが大事な取り組みと思っていますので、是非とも我々も頑張りますので、皆様のお力添えをお願いします。

神田委員

南本通小学校では、年に1回「お弁当の日」の取り組みを行っています。子供達1年生から6年生まで「お弁当の日」クリアファイルを作成します。それを使い授業の中で先生と自分のお弁当を作る計画を立てます。保護者は、子供が立てた献立の弁当を作るために、一緒に買い物に行く、前日に準備する、当日の朝にお弁当を作るという取り組みになります。昨年度、アンケート調査をしたところ、7割の保護者からは取り組みについて、継続していく事に賛成のご意見をいただきましたが、3割の保護者からは、負担であるなどのご意見があり、年に2回を1回に変更し、中身を充実した活動にしました。この取り組みを通して保護者もごはんを作る大切さや子供達の成長をみながら進めていくという事が本校の食育の取り組みとなっています。頑張りますので、宜しくお願いします。

池田委員長

すごく良い意見であった。小学校長会で、情報共有は出来ないのか？

沢田委員

情報の共有をしております。各学校でも、形が違いますが食育に関わる給食試食会等、色んな取り組みをしております。

池田委員長

その他何かありますか？それでは、委員会として資料2を素案とすることよろしいでしょうか。

－異議なし－

(2) その他

－質問，意見なし－

池田委員長

皆様から良い意見がたくさん出ました。こういった取り組みをしている事をご承知おき頂ければと思います。時間になりましたので事務局にマイクをお返しいたします。

5. 閉 会

(事務局) 三上課長

それでは、これをもちまして、第3回函館市食育計画策定推進委員会を終了させていただきます。お忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。